

(仮称)屋代SIC
YASHIRO

未来を拓くスマートインターチェンジ

未来
FUTURE

みちをつなげ 人・モノ・文化を紡ぎ 未来を拓く 新しいインターチェンジ

(仮称)屋代スマートインターチェンジだより

Vol.2

市道一重山2号線
(スマートICアクセス道路)

◎はじめに

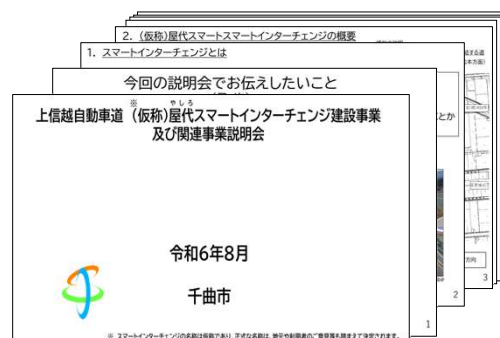
(仮称)屋代スマートインターチェンジ(以下:スマートIC)事業は、令和5年9月の新規事業化決定から1年が経過しました。現在、市とNEXCO東日本が相互に協力しながら、現地での測量・設計業務に取り組むとともに、8月には周辺の土地所有者および耕作者の皆様を対象とした事業説明会を開催しました。今号ではこの説明会の内容を中心にお伝えします。

◎事業説明会を実施しました

去る令和6年8月21日、昼・夜の2部制にて事業説明会(図1)を開催し、市の担当者から動画による事業概要とスライド・資料(図2)による説明を行いました。下記に説明要旨をお示しします。



←図1 8/21開催
事業説明会状況写真
(屋代公民館にて)



←図2 8/21開催
事業説明会資料

説明会要旨

◎当該スマートICの概要(2ページ図5参照)、NEXCO東日本と市の役割(図3)、事業の進捗状況、今後の予定を説明。

【NEXCO東日本の役割】 工事及び工事に係る調査、測量・設計等

【千曲市の役割】 建設に必要な土地取得に係る事務、埋蔵文化財発掘調査、関係機関や地元の皆さんとの調整等



←図3 NEXCO東日本と千曲市の役割

◎今年度の9月以降、市は0次アクセス道路、側道等(図4)の予定地において土地をお譲りいただく可能性が高い土地の境界を測量し、隣接土地所有者を含め、今後分筆のために必要な境界立会(境界確認)を実施する。

①: 0次アクセス道路
(市道返町東西線)

概要

・区間:スマートIC料金徴収施設～市道一重山2号線間
・スマートICの事業区分に従い、料金徴収施設から接続道路までの間は、地元自治体が整備するとされている。

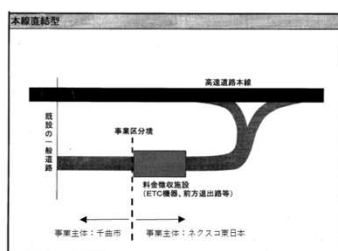


図:事業区分の例
↑【参考】スマートIC実施要綱の運用より

②:側道
(高速道路両側の市道)

概要

・区間:スマートIC整備により影響する区間
・スマートIC整備(ランプ部の新設等)により影響する側道機能の復旧を行う。



↑【参考】側道機能の復旧(イメージ)

↑図4 市が整備するスマートIC関連事業

◎令和7年度前半には詳細設計成果に基づく説明会を開催し、その後、用地測量・物件補償調査・土地評価と進み、用地説明会開催後、令和7年度後半から用地取得を予定している(3ページ図6参照)。

◎(仮称)屋代スマートインターチェンジの供用開始時期は国から公表されていないが、市は担当する関連事業について令和12年度の完成を目標に進めている。

(仮称)屋代スマートICはこのようなインターチェンジを計画しています

(仮称)屋代スマートインターチェンジの概要

- ## 語句の解説

- スマートIC供用後、**高速道路の一部となり一般車の通行がなくなる区間**
- スマートIC供用後も**引き続き通行可能となる区間**

Image 1 shows a white and red striped metal barrier installed on a paved road, likely used for traffic control or safety.

側道から市道一重山2号線へは**歩行者・自転車等のみ**通り抜け可能となります。
(安全性を考慮し車両は通り抜けできないため、迂回へのご理解をお願いします)

一般道(市道)から
高速道路への編入区間
(スマートIC供用時)

下り線ONラン
(屋代→上越・松本方面)

下り線OFFランプ
(東京方面→屋代)

市道4249号線
側道付け替え

市道4257号線
側道付け替え

上り線OFFランフ
(上越・松本方面→屋代)

上り線ONランプ
(屋代→東京方面)

側道付け替え
市道4193号線

市道返町南北線
(市道4268号線)

イメージ図

出典：磐田市HP

上り線ON・OFFの交差部
形状のコンパクト化、逆走の防止を
考慮した構造

坂城22ボックス

市道返町東西線

当該スマートICでは、既存施設の活用の観点から高速道路横断ボックス(坂城22)及び市道返町東西線の一部が、スマートICランプ(高速道路区域内)の一部に使用されます。

そのため、これらはスマートIC供用後、一般道として通行が出来なくなりますが、付け替えを行う側道や他の既存ボックスは延伸などの工事を行い、周辺道路は供用後も引き続き通行可能(右上図参照)となりますので、迂回へのご理解を頂きますようよろしくお願いします。

(※スマートIC工事中においては、既存ボックス等の一時的な通行規制を行います)

↑図5 (仮称)屋代スマートインターチェンジ概要図

-2-

説明会で出された主たる質問とその回答

Q:雨水調整池の規模はどのくらいか、構造は地下式かどうか？

A:現在設計段階であり、規模についてはまだ決まっていない。構造は維持管理しやすい自然流下できるオープン方式で、雨水を一時的に貯める窪みのようなものを想定している。

Q:側道の幅員は何メートルになるのか？

A:基本的に天端幅(舗装幅)を5メートルとして計画している。

Q:スマートインターチェンジ周辺開発の進捗状況は？

A:屋代開発事業に係る地権者会より、地権者向けに開発についての現況を伝える便り「屋代地区まちづくりニュース」を発行している。今後も随時発行していく予定。また、市のホームページでもニュースを紹介している。

Q:市道一重山2号線から西側の農地はどうなるのか？

A:モーダルコネクト拠点については、市(公民共創推進室)が主体となり、本線上にある高速バス停の代替施設を整備するため用地買収等を予定している。モーダルコネクト拠点から南側は、民間事業者にて住宅ゾーンとしての開発を予定しており、すでに民間事業者が、各地権者へ訪問したとお聞きしている。

Q:生萱から屋代に繋がる道(市道返町東西線)は、スマートインターチェンジ供用後は通れなくなるのか？

A:市道返町東西線の一部は、やむを得ずスマートICの一部として使用するため、供用後は他の道路へ迂回していただくことになる(2ページ図5参照)。今後区等の要望に応じて説明する機会も設けさせていただく予定。

◎今後の予定(状況に応じ前後することがあります)

(※) 設計には構造物の位置を決める設計の他、舗装や標識の設計を含みます

実施年度 実施主体	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度以降
NEXCO東日本	測量・設計(※)				工事
千曲市	事業説明会 ↓ 用地測量 (土地境界の確認)	設計説明会 ↓ 用地測量(買収範囲の確認) ↓ 物件補償調査 ↓ 土地評価 ↓ 用地説明会 ↓ 用地買収			
			埋蔵文化財 発掘調査		

↑図6 今後の事業スケジュール(予定)

当該スマートIC事業のこれまでの経過や概要動画、過去のスマートICだよりは、市のホームページからご覧ください。(右のように検索ワードの入力もしくは二次元コードから読み込み頂くと簡単にアクセスできます)

(仮称)屋代スマートインターチェンジ 検索



今後も、本通信をはじめ、市報・ホームページ等で発信してまいりますので、引き続き本事業へのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

～この通信に関するご質問・ご意見は～

担当:建設部 道路河川課 SIC・一重山線整備係
課長:北村 係長:斉木 係員:岡田

Email:sic1-seibi@city.chikuma.lg.jp
TEL:026-273-1111(内線3205・3206)